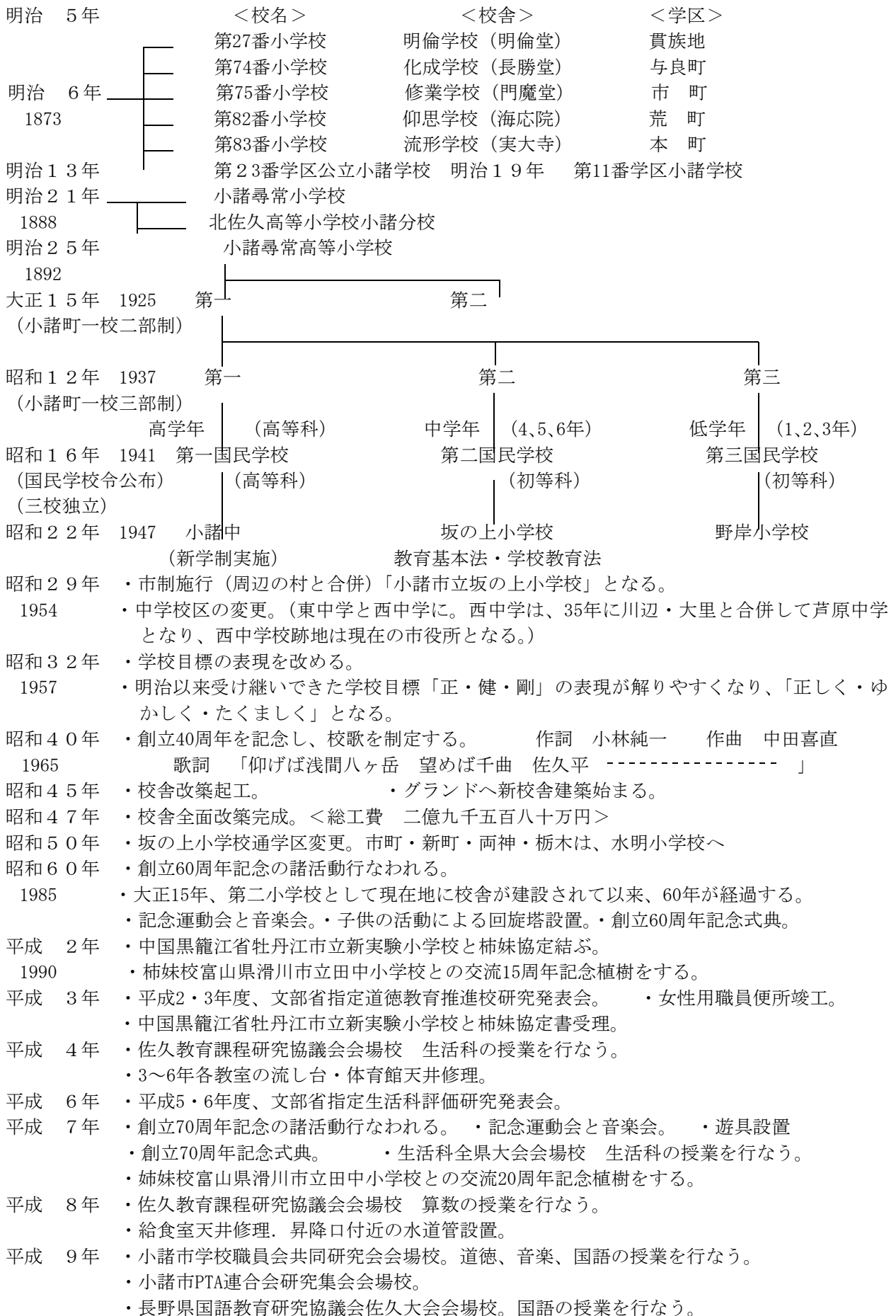


一 学校沿革概要

文化2年に東信濃各藩に先駆け創設された小諸藩の藩学「明倫堂」と私塾の寺子屋九ヶ所が小諸の近代学校制度の出発点である。



- 平成10年
 - ・低学年棟の水道管設置及びトイレの改修工事、給食室の改修工事を行なう。
 - ・長野県道徳教育学会公開会場校 4年「十歳のプレゼント」授業公開。
 - ・国際教育交流団「アップ・ウイズ・ピープル」との全校交流会を行なう。
 - ・ゴミの分別収集が開始される。ストックヤードが建設される。
- 平成11年
 - ・情報教育の充実のために、コンピュータが整備される。活用は平成11年度から。
 - ・教育課程研究協議会の体育科会場として、4年「みんなで楽しむシャトルホッケー」の授業公開。
 - ・雨漏り防止のための屋根工事が行われる。
 - ・コンピュータ室に暖房設備が整えられ、通年にわたる本格活用が定着する。
- 平成12年
 - ・新教育課程の移行期間であり、「総合的な学習の時間」の授業が本格的に実施開始。
 - ・姉妹校富山県滑川市立田中小学校との25周年を記念した交流会が開かれる。
 - ・保健室・調理室の水道、体育館の放送施設、体育館ステージのクロス、男子トイレのフラッシュ弁化等施設の改善がなされる。
- 平成13年
 - ・少人数学習手段指導が始まり、4年生と6年生が算数と国語において、2学級を3コースに分けての授業を行い、基礎学力の定着をめざした。
 - ・大津秀子氏より寄贈があり、図書館の施設を充実させ、大津秀子文庫を開設する。
 - ・PTA有志による『おやじの会』が発足する。
- 平成14年
 - ・新しい学習指導要領全面実施。学校完全週五日制のもとで教育実践が開始される。
 - ・低学年学習習慣形成事業が始まり、1年生に非常勤講師が担当される。1年生の学習習慣の形成に大きな成果がある。
 - ・本校で「算数科教育課程研究協議会」が開催され、少人数学習指導の三つのコースを授業公開する。少人数学習のあり方についての方向を示す。
 - ・こもろっ子活動事業が実施され、年間10回にわたって子どもの意欲と夢のふくらむ体験活動が行われる。
- 平成15年
 - ・低学年学習習慣形成事業が1、2年に拡大され実施する。また市不登校対応等指導員が配置され、それぞれに成果をあげる。
 - ・図書館のパソコンによる蔵書管理が始まる。
 - ・インターネットのホームページが開設する。
 - ・学校前の2カ所の地下道に、6年生の卒業記念画が平成5年、7年の作品とならんで掲示され、合わせて塗装補修が行われる。
- 平成16年
 - ・低学年学習習慣形成事業が1～3年で実施される。
 - ・開校80周年記念事業実行委員会が組織され、平成17年度の記念事業に向けて準備が始まる。
 - ・学校運営の重点について、学校運営委員会を組織して具現化に取り組む。
- 平成17年
 - ・創立80周年を迎え、記念事業実行委員会の企画運営で、懐古園におけるシャクナゲとサクラの記念植樹（約千名参加）、校内の壁のペンキ塗り（のべ700名の参加）等の記念イベントが実施され、また記念式典では小諸高校音楽科生徒と本校児童との記念コンサートが行われる。
 - ・教室の天井材にアスベストが含有していることが判明して、3ヶ月にわたって除去工事が行われる。
 - ・信濃教育会教育研究所副所長牛山榮世先生を講師として招請、小諸市の共同研究会で全学級の公開授業を行う。
 - ・滑川市田中小学校との交流が30周年を迎え、植樹等記念のイベントが行われる。
 - ・太陽光発電設備が設置される。
- 平成18年
 - ・市派遣のALT（2校に1人）による英語学習が本格的に始まり、ガーナ出身のポニー先生との交流の中で、英語に親しみながら国際理解を深める。
 - ・内なる環境教育を掲げ、懐古園とのかかわりや食育学習の中で、地域のよさ学ぶ学習が行われる。
 - ・市が推進するエコエネ事業の一環として学校ISOを取得（市より）する。
 - ・「心と体をひらいて」をキーワードに、授業づくりを核にした学校づくりをめざし、学校運営の見直しと検討をすすめる。
- 平成19年
 - ・ふるさとこもろを肌で感じようと、「まちなかうおーくらしい」が懐古園を中心に親子で行われる。また、懐古園の桜の植樹を行う。懐古園学習が位置付く。
 - ・「授業づくりは学校づくり」の学校運営方針に基づいて、「子どもとともに創る授業」が各クラスで展開される。子どもたちが生き生きと学ぶ姿が見られる。

- 平成20年
- ・6月～10月まで耐震工事が行われ、壁・天井・貯水槽・防火扉の安全・安心が確保される。12カ所あった雨漏りがなくなり、天体室上の貯水槽は、安全上職員室前にキュービクルとともに設置される。外壁が塗装されたことにより美しい校舎となる。
 - ・11月の信州教育の日に、文化センターで、地域とのつながりの発表を、6年生が行う。ハロウィンカボチャ作りや浅間火焰太鼓が披露され、好評を博した。
- 平成21年
- ・耐震工事のため、体育館が7月に取り壊され、新しい体育館が完成する。3月2日に竣工式が行われる。
 - ・野口健環境大使賞やマイタウンマップコンクール農林水産大臣賞、子どもエコクラブ環境壁新聞コンクールで環境大臣賞を受賞するなど、児童の活動が様々な場で評価された。
 - ・佐久地区教育課程研究協議会会場校、生活科の授業が行われる。
- 平成22年
- ・平成22年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰で文部科学大臣賞を受賞する。
 - ・野口健環境大使賞や人権、環境保全に関するポスター等での最優秀賞の受賞等、児童の活動や作品が様々な場で評価された。
 - ・2月にすべての普通教室と特別教室教室に念願のFFストーブが設置される。
- 平成23年
- ・8月に上田国道事務所から、国道の地下道の清掃に対して感謝状が贈られる。
 - ・9月に調理室の工事が行われ、調理室が改修されて使いやすくなる。
 - ・11月市のサッカー大会で、14年ぶりに優勝する。
- 平成24年
- ・小諸市がセーフコミュニティの認証を受けるにあたり、子ども部門の発表を坂の上小学校が担当し、見事認証される。
 - ・プールの改修工事が行われ、プールおよび周りが全面新しくなる。
 - ・体育館の暑さ対策の工事が行われ、体育館の屋根に三台の換気扇が取り付けられる。
- 平成25年度
- ・昇降口に木造の物置が設置される。
 - ・小諸市共同研究会が坂の上小学校を会場として行われ、全学級が授業公開を行う。
 - ・小諸市環境コンクールでエコ委員会が最優秀賞を受賞する。
 - ・PTA作業で校庭に大量の砂が入れられて使いやすい校庭となる。
 - ・1年生が生活科で山羊の飼育を始める。
- 平成26年度
- ・佐久地区教育課程研究協議会会場校、理科の授業が行われる。
 - ・6年生が明治学院大学のクリスマスツリー点灯式に参加する。
- 平成27年度
- ・第40回滑川交流が8月と10月に行われる。
 - ・10月に信濃教育会全県研究大会が本校を会場に開催される。3年2組が社会科の授業を公開する。
 - ・開校90周年記念式典が11月23日に行われる。今年度は一年を通じて記念事業を行う。5月記念航空写真撮影、6月記念音楽会 9月記念運動会。
 - ・低学棟の屋根防水シートの張り替え工事が行われる。
 - ・長野県特別支援教育推進計画による佐久地区2教室目のLD等通級指導教室が本校に開設される。小北地区における連続性のある多様な学びの場となる。
- 平成28年度
- ・信州型コミュニティースクール「坂小応援団」が発足する。
 - ・英語教育強化地域拠点事業2年めになり、英語教育の研究が進められる。
 - ・教室の床、階段室床の張り替え工事と、トイレ配管修理工事が行われる。
- 平成29年度
- ・信州デスティネーションキャンペーンで「手を振ろう！運動」に自主的に取り組み、感謝状を授与される。(2学年)
 - ・屋根の防水工事、廊下の床の張替え工事が行われる。
 - ・配管曲がり部分のアスベスト素材除去工事が行われる。
- 平成30年度
- ・佐久地区教育課程研究協議会会場校。外国語の授業公開。
 - ・保健室前廊下天井のアスベスト素材除去工事が行われる。
 - ・合唱班がこども音楽コンクールで東京都江戸川区総合文化センターを会場とする東日本大会に出場する。
- 平成31年度
- ・信濃教育会合唱基礎講座が本校を会場に行われ、3年、6年、合唱班の児童が参加する。
 - ・教室と音楽室にエアコンが設置される。
- 令和2年度
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月や1月等に臨時休業があった。
 - ・学習用PC活用のため、各教室などにWifi環境が整備される。

